

す ば い ら

# SPIRA 出前講座

## 実施ガイド

～多文化共生社会を目指して～

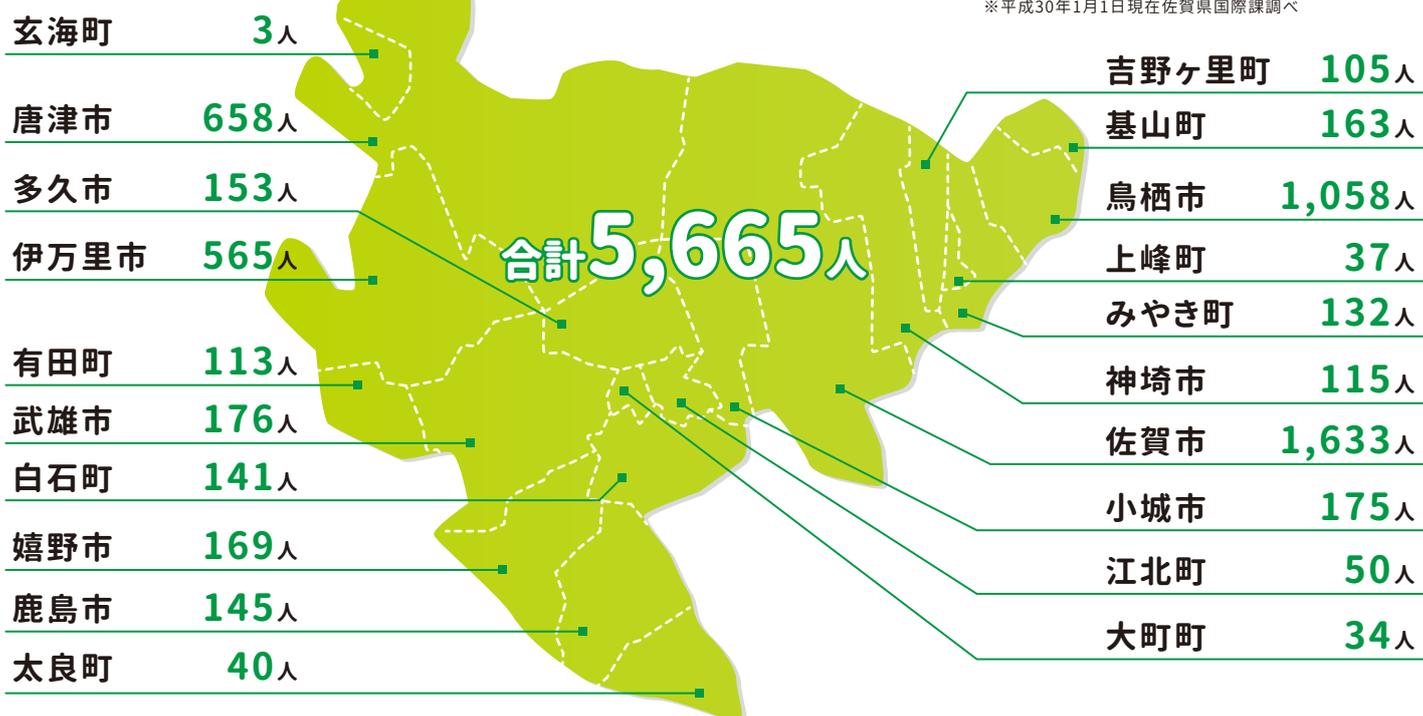


本では学べない、異文化との出会い。

県内外国人住民や海外経験の豊富な日本人と触れ合ってみませんか

### ● 佐賀県内外国人住民の数（市町別）●

※平成30年1月1日現在佐賀県国際課調べ



# SPIRA 異文化理解出前講座（外国人講師派遣・紹介事業）

※旧国際理解講座事業

## ～異文化理解出前講座とは～

県内にある保育・幼稚園、小・中学校・高等学校、公民館など営利を目的としない団体に、**県内の外国人住民を講師として**派遣または紹介します。外国人講師が行うプレゼンテーションやゲーム、製作等の活動を通して、異文化理解を深め、佐賀に住む外国人とのつながりを直接感じることができます。そして、「自国を知ってもらいたい」と強く願う外国人住民たちの姿からその国の文化や母国を尊重する気持ちを学ぶことでしょう。異文化理解出前講座は、お互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていく『多文化共生社会づくり』を目指しています。

## ～利用できる内容～

### 内容 1

- 異文化理解がメインであること。
- 講座時間は30分から1時間程度。
- 講師謝礼は当協会負担。交通費と会場確保は利用者負担。

### 講師 派遣

### 条 件

- ・受講者10人以上
- ・県内どこでも
- ・営利を目的としないこと
- ・同一受講者でのご利用は年3回まで

### 内 容

利用者の要望に応じて、講座の内容を調整しますが、講師の出身国の文化・生活習慣・社会情勢又は講師から見た日本の印象等について話してもらいます。

### 費 用

- ・講師交通費
- ・会場の確保

### 内容 2

- 料理や語学講座など異文化理解との関係性が低いもの。
- 講座の内容や受講者数、実施時間等制限なし。
- 講師謝礼と交通費、会場確保など利用者負担。

### 講師 紹介

## まずはお気軽にお電話ください



0952-25-7921

平日 9:00～17:15

### 【申込方法】

所定の申込書（裏表紙）にご記入の上、

講座実施日1か月前までに事務局までFAX・メールにてお申し込みください。

※所定の申込書は当協会のホームページでもダウンロード可能です。

※申込書に記載された日程や内容によっては、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

（公財）佐賀県国際交流協会 〒840-0826 佐賀市白山2-1-12 佐賀商工ビル1階

FAX : 0952-26-2055 E-Mail : info@spira.or.jp HP : <https://www.spira.or.jp/>

# SPIRA 多文化共生・国際協力理解出前講座 (日本人講師派遣・紹介事業)

## ～多文化共生・国際協力理解出前講座とは～

県内には様々な国際交流・国際協力活動を推進しているCSO（市民社会組織）が多数あります。県民の皆さんの多文化共生や国際交流・協力への理解を深めることを目的に、当協会の職員をはじめ、これらのCSOとの連携による海外経験豊富な日本人講師の派遣・紹介も行っております。

講座テーマは以下のとおりですが、講座中のゲームやワークショップなどの詳細内容や費用等については、SPIRAホームページにてご確認の上、A) SPIRA 異文化理解出前講座と同様の方法でお申込みください。

## (公財) 佐賀県国際交流協会の職員派遣による講座テーマ(例)

- 県内外国人住民の現状と課題  “やさしい日本語”で外国人と話そう！  
 多文化共生の地域づくりにおいて私たちができること  多文化防災ロールプレイ

## 県内CSOの講師紹介による講座テーマ(例)

名称・概要	講座テーマ(例)
<b>特定非営利活動法人 愛未来</b> スリランカやパラオとの友好交流と女性の自立支援を行っています。	①日本とスリランカの友情の絆 ②日本とパラオの友情の絆 ③スリランカとパラオの環境と暮らし
<b>特定非営利活動法人 アジアパシフィックアライアンス・ジャパン</b> <b>認定特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン</b> 「空飛ぶ医師団」で災害支援を行っています。	①災害にそなえよう、生き抜くために ②災害から自分を守る、家族を守る、地域を守る
<b>認定特定非営利活動法人 カンボジア教育支援フロム佐賀</b> カンボジアで「学びたい子どもたち」の教育支援をしている団体です。	①教育を受けて子どもはどう変わったか ②カンボジアの昔と今 ③カンボジアってどがんとこ？
<b>佐賀県海外協力協会</b> JICAが実施する青年海外協力隊、シニア海外ボランティア等のOB・OGによる任意団体です。	①海外の文化や生活の様子 ②海外でのボランティア活動と、日本と世界とのつながり ③海外生活を通じて感じた日本（地元）への想い
<b>佐賀県ユニセフ協会</b> 世界の子どもたちの健康と未来のために、広報活動と募金活動を行っています。	①子どもの人権について ②平和について考えよう ③SDGsについて
<b>佐賀ユネスコ協会</b> 平和と国際理解、国際協力、地域の文化と伝統を守る活動を行っています。	①ユネスコの活動紹介 ②世界の子どもたちの暮らしの紹介
<b>独立行政法人 JICA九州（JICAデスク佐賀）</b> 開発途上国への国際協力を行う日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う機関です。	①様々な分野で活動したJICAボランティア体験談 ②世界の現状を体感しながら学ぶ参加型ワークショップ
<b>認定特定非営利活動法人 地球市民の会</b> ミャンマー等での国際協力や県内での国際交流に取り組む、佐賀で生まれて35年目のNGOです。	①ミャンマーでの農村開発について ②NGOで働くこととは ③世界の貧困～国内やアジアの事例から～
<b>認定特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス</b> アフリカやアジアの紛争被害者の自立支援を行うNGOです。	①世界の紛争を知る～わたしたちにできることを考えよう～ ②わたしたちが知らないカンボジア～カンボジアの光と影～ ③世界平和の実現に向けて～アフリカの元子ども兵士支援を通じて～
<b>特定非営利活動法人 難民を助ける会</b> 日本生まれの国際NGOで、国内外で困難な状況の人々に寄り添う支援を行っています。	①国際協力・国際支援とは ②難民問題とは ③NGOで働くとは

## 事例紹介

講師  
派遣

# 吉野ヶ里子ども園



実施日	2016/07/05 (水)、10/17 (月)、2017/01/16 (月)	対象者	6歳児 各回 39人
講師	中国、韓国、カンボジア	テーマ	世界のいろんな国を知ろう

### ◎ 授業のねらい

世界のいろんな国の衣食住、習慣、遊び、言葉（挨拶）、文化を知りたい。私たちが住む日本の生活習慣、文化との違いを子どもたちに感じてほしい。

### 📖 授業の内容（概要）

<中国> チャイナドレスを着て登場し「ニーハオ」と挨拶をして始めました。地図で佐賀県と中国の場所を探し、中国は日本の25倍の国土の面積があることや中国の貨幣、食べ物、チャイナドレスを紹介したり、実際に子供用のチャイナ服を着せたり、中国の歌や体操をしたり、中国の文化にふれあってもらいました。最後に中国語で「さよなら」「ザイゼン」を教えて頂き、子ども達みんな「ザイゼン」を言ってお別れをしました。

<韓国> 最初に、『3びきのくま』の熊の親子の絵本（コムセマリ）を使って、熊の名前やパパ、ママの呼び方、太っている、細い、可愛い等の韓国語の言い方を教えてくれた後に、絵本の内容を園児と一緒に体を動かして楽しく踊りました。

次に韓国の国旗、言葉、アリランの歌、韓服、貨幣、座り方などを教えてくれました。最後にアリランを子どもたちも一緒に歌いました。

ニーハオ！



中国の人民元を触ってみました。

「3びきのくま」  
歌とダンス練習中



<カンボジア> 「カンボジア」の発音が、「かぼちゃ」に似ていることや、直行便で7時間で行ける等、母国のことについて紹介されました。その後、カンボジア語で「ありがとう」や、カンボジアの昔の住まいは木造で全て2階建てになっていた理由（虎や蛇など、夜寝ている時に危ない。大雨の時に洪水となってしまう）、小学校の授業は、午前のグループと午後のグループに分かれている理由（学校が少ない、気候がとても暑い）、食文化について話されました。最後に、カンボジアの遊びを2つ（米袋に入って競争とココナツの木）、子ども達に体験してもらいました。



米袋に入って競争～



ココナツの木を作りました！

### … 実施者の感想（抜粋）

当園は初めて「国際理解講座」を利用しました。3回とも子ども達は興味津々で、今日はどこの国の人か楽しみにしていました。講座ではそれぞれの国の挨拶を教えていただき、お家でも「ニーハオ」等習った挨拶ばかり言っていたことを保護者の方から聞きました。また、3回とも、講師は実物、スライドを子ども達に見せながら、その国の文化にふれあいました。歌や体操、ゲーム等体を動かす活動もあったので、子どもたちは終始楽しく、お話を最後までよく聞いていました。

アンニョン  
ハセヨ！



## 事例紹介

講師  
派遣

# 唐津市立厳木小学校



実施日	2017/06/11 (日)	対象者	3・4年生児童と保護者の親子ふれあい活動
講師	メキシコ	テーマ	教えてね！あなたの国のこと

### ◎ 授業のねらい

外国語活動で、英語表現やアメリカの文化等は学んでいる児童ですが、国際理解講座を通して、文化の違いを認めながら共生していく教育を深めていきたい。児童への講話、体験活動を保護者参観していただくことで、家庭での会話がふくらみ、身近な経験へとつなげていけたらと考えています。

### 📖 授業の内容（概要）

<メキシコ紹介> パワーポイントで画像を見せながらクイズ形式で、食べ物・生き物・有名なもの・自然・国旗の意味、小学生の暮らしの様子などについて教えてくださいました。表情、身体表現豊かにわかりやすく教えてください、児童は身を乗り出して聞いていました。質問タイムでは、「人気のスポーツは？」「海の生き物は？」など進んでたずねる子が多く、講師が丁寧にお答えくださったので、メキシコについての関心が高まりました。

<ダンスタイム> 児童は初めて生で見るダンスを見よう見まねでどっていました。ラテンのリズムに乗って自由に体を動かす文化を感じることができました。

<県内在住外国人の現状> 「佐賀県在住外国人の現状」のパワーポイント資料を通して、身近に外国人の方が住んでいらっしゃることで、その数は増えていることを知り、どうすれば仲良くできるかを考えました。



メキシコのことに興味津々

### … 実施者の感想（抜粋）

・メキシコの方との交流は初めてで、聞くもの、見るもの全て新鮮で、異文化を知る貴重な経験になりました。  
・メキシコと日本の文化の違いを、映像とクイズでのやり取りを交えて生で紹介していただくことでとても心に残りました。  
・佐賀県在住外国人の紹介を通して、児童・保護者共に文化の違いを認めながら共生していく社会になっていることを実感することができました。

### 😊 子どもの感想（抜粋）

・「アメリカや外国の人に『ハロー』などの英語をならってあいさつしたら、相手もよろこぶのでやってください」と教えてもらいました。だから、自分からあいさつをしたいと思います。  
・外国の人に会ったら日本のすごいところやおもしろいことを教えてあげたいと思いました。メキシコの言葉もしゃべりたいと思いました。  
・私は、日本に外国人がふえていると聞いたので、私が今知っている言葉だけではなく、なるべくいろんな言葉をおぼえたいです。外国の人にやさしくして、あいさつやわからないことをいっぱい教えてあげたいです。  
・戦争や争いをおこさず、平和で楽しくおもしろいことをして共に生きたいです。

カルミナサン



児童が描いてくれた講師の絵

## 事例紹介

講師  
派遣

# 佐賀県立武雄青陵中学校



実施日	2016/6/14 (火)	対象者	中学生 73 名
講師	ペルー、香港	テーマ	国際理解講座

### ◎ 授業のねらい

青陵中学校では、3年生の「総合的な学習の時間」に「国際探究」という時間を設定し、「海外を知り、日本について、相互理解のために発信する」という目的で学習を行っています。様々な方々と直接出会い、思いを共有することで、生徒たちがお互いの文化や考えをよく理解し、視野を広げることができればと期待し、この事業を利用しました。

### 📖 授業の内容 (概要)

生徒を二つのグループに分け、ローテーションでペルーと香港、それぞれ30分の講義を行っていただき、主に母国の衣食住文化、国情、教育制度について紹介していただきました。



香港の紹介

### 💬 実施者の感想 (抜粋)

「他国の文化を学んで、もっと自国の文化を広めたいと思った」「他国への視野を広げたい」「講師の先生方のように、自分の国に誇りをもちたい」「お互いの言語や文化が違って、大切なのはコミュニケーションだと知った」「話し方や紹介の仕方も参考になった」など、生徒の感想からもこの講座がとても有意義であったと感じられます。異なる文化や習慣を持つ外国人の人々と接する貴重な機会でした。今後も広い視野を持ち異文化を理解するとともに、自分の考えや意志を表現できる人間になってほしいと期待します。

### 😊 参加者の感想 (抜粋)

・二人とも日本語がとても上手で、数年前に日本に来られたと聞きました。私たちが知らない国に行くのと同じくらい不安で、文化が全く違うのに、日本に来られ、私たち日本人に母国のことを話してくださいました。「もっと他国の文化を学んで、もっと自国の文化を広めたい」とお話の中で言われたように思われているのだと強く感じました。他人に、ましてやその国を知らない人たちに自国の紹介をできるという事は、文化や考え方についてよく知り、自分の国に誇りを持たれているからできる事だと思います。また、講師はとても笑顔で明るく話されていて、会ったばかりの人なのに「みんな友達!!」のように接していただき、とても勉強になりました。



ペルーの紹介

・今回、さまざまな文化を知ることができました。日本との共通点もあれば異なる点もあり、それはそれで面白みを感じました。他国の文化を理解することは難しいけれど、今日話をさせていただき、他国に対する見方も変わったと思います。実際に話を聞くことで、国際的な状況で判断するのはよくないと思うことができました。これからは、もっと他国への視野を広げていきたいと思っています。

・今回、さまざまな文化を知ることができました。日本との共通点もあれば異なる点もあり、それはそれで面白みを感じました。他国の文化を理解することは難しいけれど、今日話をさせていただき、他国に対する見方も変わったと思います。実際に話を聞くことで、国際的な状況で判断するのはよくないと思うことができました。これからは、もっと他国への視野を広げていきたいと思っています。

## 事例紹介

講師  
派遣

独立行政法人国立病院機構

# 嬉野医療センター



実施日	2017/12/26 (火)	対象者	病院職員57人
講師	インドネシア	テーマ	インドネシアを知ろう

### ◎ 授業のねらい

嬉野医療センターは、平成29年度に初めてEPA(インドネシア)看護師候補生2名を受け入れることとなった。受け入れる施設側として、インドネシアについての知識が無く職員がサポートするにあたり、インドネシアについての理解が必要である。看護のみならず、全職員においてインドネシアの歴史や文化を知り、病院職員一丸となって彼女らと関わる体制を作りたい。

### 📖 授業の内容 (概要)

<インドネシアの地理について>  
地図を使って説明

<言語について> インドネシア語が主体

<宗教について> イスラム教・キリスト教・仏教という宗教があり、約9割がイスラム教。イスラムではお酒・豚肉を食しない。

日本の食材に使われている原材料を確認する必要がある。基本的には手を使って摂取するが、箸やスプーンを使用することもできる。

5回/日のお祈りは2回のお祈りをまとめて実施することもできる。お祈りの前には、手・口・足などを洗って身を清める必要があり、病棟で行うときには足などを洗うことができる環境を考える必要がある。「断食」について、業務の内容など特別な調整は必要ないとのことであった。ジルバブは両親や夫などの家族以外の場所では外さないのが基本である。



来日してすぐ母国の方と会い、候補生もうれしい。

### 💬 実施者の感想 (抜粋)

イスラムの宗教については、受け入れ前から気になっていたことであるが、講演の内容や候補者本人達からの話を聴き、対応にさほど問題ないことを理解できた。

インドネシアの生活の中では、あまり時間に厳格ではないところもある(インフラ環境の違いで)が、日本のルールについては理解を示して行動していることを候補者生からも知る機会となった。今後は佐賀県在住のインドネシアや外国の方との交流などを計画していきたいと思った。

### 😊 受講者の感想 (抜粋)

インドネシアという国の文化や生活習慣、ムスリムの方の断食、ハラールおよび佐賀でのインドネシア事情等、知らないことばかりだったので大変勉強になりました。

インドネシアの方が日本や日本人についてどんなふうにいるのか、文化や流行っていることなどの話も聞けたら良かった。



インドネシア語の構成について説明

# SPIRA 出前講座 申込書

公益財団法人 佐賀県国際交流協会 理事長 様

申込日:        年        月        日        (        )

<b>申込み団体名</b>		<b>申込講座名</b>	A <input type="checkbox"/> 異文化理解出前講座 (外国人講師) B <input type="checkbox"/> 多文化共生・国際協理解出前講座 (日本人講師)	
<b>団体種別</b>	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 公共機関 <input type="checkbox"/> 民間団体 <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園 <input type="checkbox"/> その他	<b>申込回数</b>	A (3回まで)        回        B        回	
<b>住所</b>	〒        -	<b>A 実施日時</b>	年    月    日    曜日    時間 1回目        ~ 2回目        ~ 3回目        ~	
<b>代表者</b>			<b>A 受講者</b>	人数        学年・年齢構成等 1回目        人 2回目        人 3回目        人
<b>E-mail</b>				<b>A 希望講師人数・出身国</b>
<b>電話番号</b>	(携帯可)	<b>A 利用実績</b>		
<b>FAX</b>	<input type="checkbox"/> 無		<b>B 実施日時</b>	
<b>実施会場</b>	会場名: 所在地: 電話:        最寄駅:        駅		<b>B 希望講師派遣団体名・人数</b>	希望講師派遣団体名        希望講師人数
<b>移動方法</b>	<input type="checkbox"/> 講師自宅⇄会場 送迎有 <input type="checkbox"/> 最寄駅まで公共交通機関を利用してもらう、最寄駅⇄会場 送迎有 <input type="checkbox"/> その他 (別途調整) <small>※講師決定後、講座の実施時間に合わせ、会場までの詳細ルートを講師にお伝えください。</small>	<b>B 受講者</b>		人数        学年・年齢構成等
<b>A 経費 (注1)</b>	<b>講師派遣の場合:</b> <input type="checkbox"/> 交通費負担について了承しました 交通費:        円; 支払方法:			<b>A・B 事前打合せ</b>
	<b>講師紹介の場合:</b> <input type="checkbox"/> 謝礼と交通費の負担について了承しました 謝礼:        円; 交通費:        円			
	支払方法: <small>※ 講師のマイナンバーが必要な場合、必ず事前にお知らせください。</small>			
<b>B 経費</b>	・当協会の職員派遣は無料。 ・県内CSOに要する経費は、当協会のHPIにてご確認ください。			

(注1) A 異文化理解出前講座(外国人講師)において、  
 ・実施目的が語学講座や料理交流会等の異文化理解との関連性が希薄の場合、講師紹介のみとさせていただきます。(謝礼や交通費等は貴団体の負担)  
 ・実施目的が国際交流や異文化理解と関連性が高い場合、講師派遣とさせていただきます。(講師謝金は当協会負担)

<b>講座名(テーマ)</b>	
<b>〔 実施目的 〕</b>	
<b>〔 話してほしい内容を具体的に教えてください 〕</b>	
<b>〔 その他(ご要望等) 〕</b>	

**〈申込み先・問合せ先〉 佐賀県国際交流協会 TEL:0952-25-7921 FAX:0952-26-2055**  
**本申込用紙は当協会のHPでもダウンロード可能です。ご利用ください。**